

【教育活動の名称】 トン・パン・トンでとびばこ名人

【学校名】 東近江市立布引小学校

1 本校の概要

宅地開発に伴う児童数の増加により、46年前に新設された学校で、3小学校区より分離した地区を統合して学区が編成されている。布引丘陵の里山を開拓して校地を造成しており、里山の風情を残す落葉樹が多数校庭に植生されている。

現在では、新興住宅地から通う児童が減少してきたことで、全校児童数も減少してきており、単学級化が進んでいる。

2 取り組んだ内容

(1) 低学年「跳び箱使ったの運動遊び」

跳び箱を使った運動遊びは、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下り等ができる楽しさに触れることができる運動遊びである。技能の向上というより、跳び箱を使ったいろいろな運動遊びをして遊ぶ時間を多く設定した単元前半から、徐々に遊び方や場を工夫して遊ぶ時間を多く設定した単元後半に進むようにすることで、できる運動遊びを増やしながらか楽しく遊ぶことができる授業を展開するようにした。

跳び箱という高さのあるものと平地との差を利用したダイナミックな動きの楽しさを存分に味わい、工夫した遊び方を友達に伝えたり、協働してさらに工夫を進めたりするおもしろさを味わえるようにした。

事業で購入したラバーリングは、主運動につながるケンパ遊びや、主運動での跳び乗りの前に調子を整えるための用具として活用できた。



(2) 中学年「跳び箱運動」

跳び箱運動は、切り返し系や回転系の基本的な技をして、その技ができる楽しさや喜びに触れることができる運動である。単元前半は切り返し系の技、単元後半は回転系の技に取り組むようにすることで児童が安全に運動できるように配慮した。できる技に取り組んだり、できるようになりたい技に挑戦したりすることで、自己の能力に適した技に進んで取り組むことができる授業を展開するようにした。

自分の能力や興味関心の高い技に進んで挑戦できるように展開した単元後半では、多様な場づくりが重要な要素となり、助走や踏切の調整の場として事業で購入した踏切板やマーカープレート、ラバーリングを特によく活用することができた。



(3) 高学年「跳び箱運動」

高学年での跳び箱運動は、中学年での学習をもとに、切り返し系や回転系の基本的な技を行ったり、その発展技を行ったりして、その技ができる楽しさや喜びを味わうことができる運動である。単元前半は、切り返し系の技、単元後半は回転系の技に取り組むようにすることで児童が安全に運動できるように配慮した。できる技に取り組んだり、更にできるようになりたい技に挑戦したりすることで、自己の能力に適した技に積極的に取り組むことができるよう授業を展開した。

より発展的な、抱え込み跳びや台上首はね跳びなどを成功させるために、より強い踏切から大きな第1空間をとったり、強い着手の感覚をつかんだりするために、ラバープレートや踏切板、踏切調節板を活用することができた。

3 活動の成果

跳び箱運動の「踏み切り」「着手」「空間動作」「着地」の動作を通じて、体の調整力に関心を

向けることができた。日常生活ではあまり行わない、手で支えて跳び越す動作や回転動作は、全身の筋肉をバランスよく使う貴重な経験となった。

技の完成度が明確であるため、成功したときの達成感が大きく、子どもたちの自信を育むことができた。また、友達と技を教え合ったり、見本を見せ合ったりすることで、協力する楽しさを味わうことができた。

器具の取り扱いや運動の仕方を通して、安全に運動を行う意識を向上させることができた。

